

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第89号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年5月30日 06時30分ごろ	
発生場所	長崎県南島原市口之津町瀬詰埼灯台の南南西1.5海里付近	
事故等調査の経過	平成21年7月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第五 ^{へいあん} 平安丸、1.5トン NS3-405608（漁船登録番号）、個人所有 B 漁船 春貴丸、1.1トン NS3-402953（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B 船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷側外板破損、両舷ブルワークにひび B 球状船首破損	
事故等の経過	A船は、船長が1人で乗り組み、釣り場で漂泊中、B船は、船長が1人で乗り組み、一本釣り中に潮で流されたため釣り場に戻ろうと移動中、平成21年5月30日06時30分ごろ、A船の右舷外板とB船の船首とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1 海象：潮流の方向 西、流速 約1.7ノット	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、適切な見張りを行わず、接近するB船に気付かないまま漂泊していたものと考えられる。 B船は、適切な見張りを行わず、A船に気付かないまま航行したのと考えられる。
原因	本事故は、口之津町瀬詰埼灯台南南西沖において、A船が漂泊中、B船が航行中、A船が接近するB船に気付かないまま漂泊を続け、また、B船が、A船に気付かないまま航行したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	